

「殺さないで、ママ…」

「愛につつまれて」というポピース & フレンズのCDに心を打たれた。

ポピースの名は、ボーカルの関根由紀さんがポリオ、作詞作曲の善一さんがCP(脳性まひ)であることに由来する。

2人は町田ヒューマンネットワークという自立生活センターで働いている。障害のある人が町で暮らせるように家探しを手伝い、改造し、介護者を見つける。人間関係や所得保障のノウハウを伝授する。そして、精神的にも支える仕事だ。

善一さんは、みんなからヒッピーと呼ばれている。

仕事の合間に劇団「態変」の役者としてアフリカやヨーロッパにもでかけた。

口髭、長髪の、実にカッコいい車いす姿だ。



由紀さんは2児の母。かれんな声、優しい声、すごみの利いた声と、7色の声を使い分けて夫の曲を歌う。夫妻は70の多彩なオリジナル曲を持ち、各地の催しで演奏してきた。

やがて、オカリナの白井進さん、ギターの卯月慎一さん、打楽器の吉口克彰さんが二人のバンドに加わるようになった。いずれもプロの音楽家である。

加わった理由はこうだという。「2人の音楽には、ほかにはない世界がある。関根ワールドのとりこになってしまった」3人はその音楽に触れ、2人の世界に加わることで心がいやされているという。

障害を持つ人と持たない人の見事なハーモニーが、このCDにつまっている。心打たれるのは、そのせいかもしれない。

とりわけ、「ママ99」という曲が心にしみた。

「……。僕がかたわなのは、ママのせいじゃないよ。ただ、運が悪かった、それだけのことさ。……。」

あたたかいでしょう、僕のいのちは。……。燃えているでしょう」

歌詞は、「殺さないで、ママ…」で終わっている。〈・雪・〉

「ハーモニー」1999.8.2「窓」論説委員室から